

令和7年度 第1回 豊田市社会福祉審議会 障がい者専門分科会 議事録

日時 令和7年8月6日(水) 午後2時から午後3時40分まで

場所 豊田市役所南庁舎 南51会議室

出席者(委員) ※敬称略

会場出席

田中 和彦、小坂 繁、若子 理恵、田中 慎也、山田 浩、山崎 真哉、
柴田 真克、吉川 諒、松本 清彦、竹原 いずみ、藤井 薫、中野 まこ、
森 優子 13名

WEB出席

伊藤 純子、山田 雄三 2名

欠席

田代 和久、後藤 哲也 2名

- 1 開 会
- 2 福祉部長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 専門分科会長の選任 → 田中委員を選任
- 5 副分科会長の選任 → 後藤委員を選任
- 6 専門分科会長のあいさつ

議題1 第5次豊田市障がい者ライフサポートプランの進捗について

事務局 (資料1-1、1-2に基づき説明)

委員 ・ No.1 施策分野1 心のバリアフリー推進講座について、最近、社会が形成した障がい者像や、差別や偏見に苦しめられた経験を語った映画や新聞記事から、障がい者の気持ちを理解すること、個人の尊厳の大切さを健常者に理解してもらうことの大切さを強く感じる。差別や偏見を払拭できるような取り組みをしてほしい。

事務局 ・ 心のバリアフリー推進講座は、当事者の方に参加いただき交流を通して、相互理解と個人の尊重への理解を深める取組をしている。ブラッシュアップしながら、引き続き講座を開催していきたい。

- 委員
- ・ No.6 分野 6 避難行動要支援者名簿を活用した支援体制モデルの展開について、具体的にどういったことを、どこで、何人参加したのか教えてほしい。実際有事が起きた時、名簿はどこまで活用されるのか、機能するのかと障がい当事者は不安に思っている。
 - ・ また先日、自分の避難所指定先である小学校で開催された自治区の夏祭りに行った際、バリアフリートイレが施錠され使用できなかった。地域に開かれた環境であるべき所でも、この現状であることを皆さんに知ってもらいたい。
- 事務局
- ・ 実績、活動については、よりそい支援課より回答する。名簿を渡して終わりではなく、どう活用し役立てるかが重要。勉強会の実施、個別訪問等の取り組み事例を市内に展開し、少しずつ地域に浸透させ広めていきたい。行政が、地域が、ではなく皆一緒になって進めていければと考えている。
- よりそい支援課
- ・ 去年は、3件のモデル及び7件の出前講座を実施。自治区との打合せ、地区での防災訓練行事で推進した他、民生委員の地域の集まり、コミュニティ会議、消防団、豊田三好聴覚障がい者協会などの場面にお伺いし、各回おおよそ20～30人参加、1～2時間程度で啓発活動を行っている。指摘があった活用や機能できるのかという点については、課題を把握しながら、有効活用できるように引き続き取組を進めていく。
- 委員
- ・ 精神障がい者数は年々増加傾向であるが、それに対し、どのような施策を考えているか教えて欲しい。
- 事務局
- ・ 精神障がい者の方限定ではないが、今年度、障がい当事者・市民・事業所へ実態調査を行い、ニーズなどの現状を把握、分析し、計画をまとめていく。課題認識としては、親亡きあとを見据えたグループホーム等を充実させる施策を検討していく。
- 委員
- ・ ひとつ前の話題であるが、避難行動要支援者名簿の管理について、民生委員一人あたり10～20人担当している。有事の際には、家を回って確認することはできるが、実際に助けることは難しい。近隣住民同士の共助が重要。民生委員、区長、自治区とうまく連携できていけばいいが、自治区で取組に差異があるため、深いところまで踏み込んで自治区を指導してもらいたい。

- 事務局
- ・ 現在、名簿掲載者の中でも支援の優先順位を整理するなど福祉部全体で検討を進めている。自治区、民生委員と連絡を取り合いながら状況を変えていきたい。
- 会長
- ・ 各関係部署と協議しながら進めてもらいたい。
- 委員
- ・ No.44 施策分野 4 医療型短期入所・レスパイト事業で、登録医療機関「8 か所」は具体的にどこか。
 - ・ No.45 施策分野 4 重心・医ケア児者支援コーディネーターの設置は、相談支援員とは別に設置という理解でよいか。
- 事務局
- ・ 8 か所は市内事業所であり、内訳は後日回答。実績は利用日数のため、実人数は後日回答。
 - ・ 医ケアコーディネーターは、県の養成研修修了者である。相談支援専門員で研修修了されている方もいらっしゃると思う。
- 会長
- ・ こういった情報を委員だけではなく、当事者や家族がアクセスしやすい工夫を検討して欲しい。
- 委員
- ・ No.11 施策分野 1 福祉車両による移送サービスについて、廃止を含めて見直しながら継続とあるが、終了なのか継続なのかよくわからない。我が子も使おうとしたが、実際には使い辛かったことから、縮小傾向なのかと思うが、支援度の高い人は移動が困難であり、移送サービスがなくなると困る人が出るのではないか。見直しの方法を教えて欲しい。
 - ・ No.46 施策分野 4 医療型短期入所中の日中活動支援場所の送迎支援は、もう少し幅広くみてもらいたい。
- 事務局
- ・ No.46 の事業説明になるが、医療型短期入所先である医療機関から、生活介護等の事業所へ移送する事業である。
No.11 は、民間タクシー会社と協定を結び、車いすのまま乗降可能な車両で、市内の希望する場所へ 500 円で移送する事業である。
 - ・ 具体的に廃止に向けた動きはないが、利用実態や、事業目的が果たしているか等を踏まえながら、より良い制度に見直しをしていく。
- 委員
- ・ 私も移送サービスを利用しているが、2 週間前の朝 6 時からの予約開始すぐに申し込まないと利用できない。稼働車両は何台あるの

- か。
- 事務局
- ・ 車両数については、後日回答。予約が難しいという意見は伺っている。対策を検討していく。
- 委員
- ・ No.46 施策分野4 医療的短期入所中の日中活動場所等への送迎支援について、送迎時に医療的ケアを実施するとあるが、それは誰がやっているのか。
- 事務局
- ・ 1つの介護タクシー事業者と委託契約し、看護師資格がある方に同乗してもらい、対応してもらっている。
- 委員
- ・ 豊田特支の場合、吸引等医療的ケアが必要な子はスクールバスに乗れず、保護者が送迎している。大人も厳しい状況であると思うが、実施回数だけでは充足率が分からない。年間 129 回は全申請数なのか、申請しても断られることがあって、この回数なのか知りたい。またどのように充足させていくか聞きたい。
- 事務局
- ・ 充足率等について、後日回答。
- 会長
- ・ 後日、実態がわかるように示して欲しい。
- 委員
- ・ No.77 施策分野7 特別支援学校の児童・生徒との交流及び共同学習について、事業実施内容の詳細が知りたい。うまく機能すれば障がいの啓発、心のバリアフリー、インクルーシブ教育につながるように利用できるのではないか。今の子ども達がどのように交流しているのかを聞きたい。
- 事務局
- ・ 所管課は学校教育課であるため、後日回答。
- 委員
- ・ 差支えなければ、豊田特別支援学校の状況をお伝えできるが、いかがか。
- 会長
- ・ では、委員からご発言をお願いしたい。
- 委員
- ・ 今年度赴任したので過年度詳細は分からないが、学校間交流は、浄水小学校、逢妻中学校、豊田高等学校と交流を行っている。地域交流は、コロナ禍後から少しずつ交流をはじめ、今年度は浄水小で1

回実施。なかなか全員来ることは難しいので、一部の児童に来てもらって交流している。逢妻中は後期に実施決定、豊田高は開催のため打合せを進めているところである。

- 委員
- ・ No.75.84 施策分野7に関連し、障がい者の権利条約でインクルーシブ教育の推進、豊田市ライフサポートプランでは、地域共生社会の実現を掲げている。早期療育や、就学に際し、助言する立場の人が、それらを保護者や本人にどのように伝えているのか知りたい。一緒に学ぶ権利があると理解した上で、学校選択ができていいのか現状を知りたい。
- 事務局
- ・ 本人の状況に応じて、支援方法や進路について関係機関と協議と必要な支援を行っているところである。
- 委員
- ・ 教育委員会ではない就学支援委員の立場からの回答になるが、豊田市は地域の園や学校に行く方が比較的多い印象。就学相談を多くの方に使っていただけるように情報提供をしている。専門的な教育か、地域で学ぶかを比較検討できるようにしていきたい。どうやってインクルーシブ教育を進めていくか、保育課や現場の先生方も学んでいるところ。時間はかかるかもしれないが、少しずつ進んでいると考えている。
- 会長
- ・ 今の委員の情報提供を含め、事務局で情報を精査していただければと思う。

議題2 (仮) 第6次豊田市障がい者ライフサポートプラン策定に向けた実態調査の進捗状況について

- 事務局 (資料2に基づき説明)
- 委員
- ・ 実態調査概要で、アンケートを実施するとある。毎年障がい福祉サービス受給継続調査の際、調査員に必ず「困っていることはないか」と聞かれるので、毎年同じことをお伝えしている。その内容を計画に反映してもらえないか。
- 事務局
- ・ 調査員が行うサービス受給のための調査結果より、どういった意見があるのかを確認し、それを踏まえて政策に反映できるのかを検討をしていく。

会長 ・ 議題2については、今いただいた意見を参考にしながら進めていただければと思う。

午後3時40分 会議終了

後日回答

(1) No.11 施策分野1 福祉車両による移送サービスについて

【質問】稼働車両は何台稼働しているのか。

【回答】4台

(2) 4 施策分野4 医療型短期入所・レスパイト事業について

【質問】登録医療機関「8か所」の内訳と医療機関ごとの利用実績を知りたい。

【回答】医療型短期入所・レスパイト内訳

医療機関	重心 医療型短期入所	重心 レスパイト	難病 レスパイト
さくら病院	0	24	0
トヨタ記念病院	20	868	4
足助病院	0	110	78
豊田地域医療センター	162	0	84
豊田厚生病院	0	36	0
三九郎病院※	0	0	0
斉藤病院※	0	0	0
菊池病院※	0	0	0
合計	182	1038	166

※受入実績なし

(3) No.46 施策分野4 医療的短期入所中の日中活動場所等への送迎支援について

【質問】送迎回数実績年間 129 回の実態を知りたい。またどのように充足させていくか聞きたい。

【回答】現在利用者は2名のみで、希望する全ての送迎に対応できている状況（この2名以外の利用希望はなし）